

# 宗達伊勢物語図色紙

羽衣国際大学日本文化研究所 伊勢物語絵研究会 編 2013年3月刊行予定

▶ B4判変型・220頁(カラー65頁) / 定価19,950円(税5%込) ISBN978-4-7842-1679-6

17世紀前半の京都、俵屋宗達の工房で制作された「伊勢物語図色紙」は、独創的な技法、描法、大胆な発想と非現実的な表現を用いた優雅な王朝物語絵であり、いわゆる「琳派」が繰り返し描いた伊勢物語絵の〈始発〉である。

「宗達伊勢物語図色紙」はこれまでまとまって紹介されることのなかった作品だが、本書では、近年新たに発見された色紙も含めて、59面のすべてをカラー、原寸大で掲載し、また、色紙に描かれた伊勢物語の世界の解釈、伊勢物語絵巻・絵本との比較対照、さらに、宗達における色紙の位置づけ、裏書の解説、色紙の特徴的な構図と技法、色紙成立の動機、色紙をめぐる人的ネットワークなどに関する新たな知見を収める。

伊勢物語研究者と日本美術史研究者との共同研究に基づき「宗達伊勢物語図色紙」の全体像と特徴を明らかにした一書。

## 予定目次

序章	「宗達伊勢物語図色紙」の魅力	片桐 洋一
第一章	「宗達伊勢物語図色紙」の研究と鑑賞	青木賜鶴子・泉紀子・大口裕子・田中まき・山本登朗
第二章	「宗達伊勢物語図色紙」の現状	河田 昌之
	「宗達伊勢物語図色紙」の人的ネットワーク	五十嵐公一
	益田家本「宗達伊勢物語図色紙」の成立	林 進
	「宗達伊勢物語図色紙」の加飾技法と構図	河田 昌之
	色紙書誌データ・所蔵者一覧	河田 昌之
	参考文献・資料	大口 裕子



益田家本「芥川」(大和文華館)

## 執筆者紹介

片桐 洋一 (かたぎり よういち)  
大阪女子大学名誉教授

泉 紀子 (いずみ のりこ)  
羽衣国際大学現代社会学部教授・日本文化研究所長  
伊勢物語研究会代表

青木 賜鶴子 (あおき しづこ)  
大阪府立大学人間社会学部准教授

五十嵐 公一 (いがらし こういち)  
兵庫県立歴史博物館学芸員

大口 裕子 (おおぐち ひろこ)  
霞会館資料展示委員会学芸員

河田 昌之 (かわだ まさゆき)  
和泉市久保惣記念美術館長

田中 まき (たなか まき)  
神戸松蔭女子学院大学文学部教授

林 進 (はやしすすむ)  
関西大学・大手前大学・羽衣国際大学講師

山本 登朗 (やまもと とくろう)  
関西大学文学部教授

## 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)		
冊数	冊	宗達伊勢物語図色紙		本体19,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1679-6	
お名前	tel		QRコード			
	e-mail					
ご住所	〒		書店番線印			
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)					

本書HPのQRコード

書店番線印

## 原本『古画備考』のネットワーク

古画備考研究会編 【2013年3月刊行予定】

原本『古画備考』（東京藝術大学附属図書館蔵）を徹底的に解剖することにより、江戸時代後期に『古画備考』を（書画情報）総合集積の場として大規模に繰り広げられていた古画研究ネットワークの実態を浮かび上がらせる。また、活字本『増訂 古画備考』などから近代における『古画備考』の受容の様相を検討した17論文の総合論文集。

▶A5判・500頁／定価9,660円 ISBN978-4-7842-1674-1

## ※三藐院 近衛信尹 残された手紙から

前田多美子著

本阿弥光悦・松花堂昭乗とともに「寛永の三筆」として日本書道史上にその名を謳われてきた近衛信尹。書、和歌、連歌、絵画の諸道に優れた才能を発揮した、信尹の生涯を彼の残した手紙から読み解き、隠れた素顔を明らかにし、さらに能書としていかに遇されてきたのか、その書とはどのようなものであったのかを改めて考えなおす。

▶A5判・270頁／定価2,415円 ISBN4-7842-1299-X

## 隔莫記 [全7巻／本篇6冊・総索引1冊]

本篇・赤松俊秀校訂／総索引：『隔莫記』研究会編

鹿苑寺住持鳳林承章が寛永12(1635)年から寛文8(1668)年までの33年間に渡って書き継いだ自筆日記で、近世の日記の中でも一級の記録を活字化。その記事内容はきわめて豊富で、17世紀中ごろの政治・経済・社会はもとより、文芸や芸能においても必読。

▶A5判・総5130頁／定価73,500円 ISBN4-7842-1311-2

## 風俗絵画の文化学Ⅱ 虚実をうつす機知

松本郁代・出光佐千子・彬子女王編

風俗絵画とは虚実をうつす機知の媒体である。美術史・歴史学・文学・文化人類学等を専門とする研究者が、それぞれの専門性を生かした風俗絵画分析を進め、粘り強く議論を繰り返して生まれた学際的文化研究。絵画の制作に関わった人々の複雑に絡み合う視線の交錯を文化的に考察し、そこにあらわれた「機知」を明らかにしていく15篇。

▶A5判・450頁／定価7,350円 ISBN978-4-7842-1615-4

## 尾陽 徳川美術館論集

【既刊8冊】

徳川美術館編

徳川美術館が2005年に開館70周年を迎えたのにあわせて、より多くの方々に徳川美術館の研究活動を知って頂きたいとの願いから、徳川黎明会編の史学美術史論集『金鯨叢書』収録分から徳川美術館分を独立させて刊行。

▶B5判・平均180頁／各定価3,150円

## 禁裏本歌書の蔵書史的研究

酒井茂幸著

禁裏本の総体を蔵書群として捉え、同時代の公家日記や古歌書目録類を援用しつつその伝来の歴史を跡付ける。また、禁裏における歌学や古典文学の注釈・講釈に注目し、古典学の変遷を叙述する。中世後期以降、歴代天皇がどのような歌書を求め、書写し、収蔵していったかを明らかにするのが本書の目的である。

▶A5判・344頁／定価5,880円 ISBN978-4-7842-1483-9

## 源氏物語 千年のかがやき

国文学研究資料館編

新出の国文学研究資料館蔵『源氏物語団扇画帖』全54枚をカラーで掲載し、詳細な解説を付す。あわせて図様が近似する他の源氏絵についても参考資料として多数掲載。描く・書き写す・鑑賞するという3つの観点から、源氏物語が千年間どのように享受されてきたのか、豊富なカラー図版で紹介。

▶A4判・168頁／定価1,995円 ISBN978-4-7842-1437-2

## ※絵巻 大江山酒吞童子・芦引絵の世界

逸翁美術館編

2011年9月17日～12月4日まで行われた同名展の図録。館所蔵「大江山絵詞」（重文）とサントリー美術館蔵「酒伝童子絵」をそれぞれ全巻カラー掲載し、酒吞童子絵巻の二大系統を対比させる。お伽草子として広く読まれるようになっていった鬼退治の物語とともに、単記物の絵巻・逸翁美術館蔵「芦引絵」（重文）なども収録。

▶A4判・98頁／定価1,050円 ISBN978-4-7842-1591-1

## 黄金のとき 桃山絵画

京都国立博物館編

信長・秀吉と狩野永徳に象徴される桃山時代の絵画を狩野派とそれをめぐる作家たちの作品を中心に構成。大画面一襖・屏風・大絵馬・杉戸絵一を主として基本作品全100点を全8章に分けてオールカラーで収録し、各章ごとにテーマ解説を掲げ、適宜部分拡大図を収めた。巻頭概説「祭の終りー桃山時代絵画の展望」のほか巻末に作品解説を収録。

▶B4判・400頁／定価42,000円 ISBN4-7842-1044-X

## 松花堂昭乗と瀧本流の展開

山口恭子著

近世初期、本阿弥光悦、近衛信尹と寛永の三筆と並び称され、寛永文化の一翼を担った松花堂昭乗。昭乗と瀧本流の書について造型的な面のみならず、昭乗の著述した文芸作品、瀧本流の法帖など、文献資料や版本に対する細やかな検討を行うことにより、近世の書道史、出版史、文化史など広範な研究分野に新しい知見を提供する。

▶A5判・356頁／定価9,030円 ISBN978-4-7842-1559-1

## 隔莫記 総索引

『隔莫記』研究会編

『隔莫記』全6巻の膨大な情報を索引として刊行。人名(8000)・事項(8800)・社寺名(550)・地名(500)に分けて編集。人名索引は別称・異称・官位官職・寺院名・姻戚・師弟関係・居住地や鳳林・校注者の誤り等を併記。事項索引には陶磁器・園芸・建築・書画などの諸分野の項目を収録。

▶A5判・760頁／定価14,700円 ISBN4-7842-1312-0

## ※近世京焼の研究

岡佳子著

桃山時代から江戸時代末まで京都で焼かれたやきものの窯業的な変遷を、文献史料と出土資料によって明らかにし、そこに野々村仁清・尾形乾山・奥田頼川・仁阿弥道八など京焼の名工たちの生涯と作品を位置づけ、近世京都の特質を明確にした。京焼の通史を見直した一書。

▶A5判・434頁／定価6,615円 ISBN978-4-7842-1558-4

## ※京都の美術史

赤井達郎著

毎日出版文化賞受賞

あらゆる芸術は時代の衣裳をまとう。なかでも「美術」は、その作品を生み出した時代を最も明瞭な形で物語る。古代から現代(昭和初年)までの京都の美術の歩みをたどる本書は、京都文化の地方への波及にも言及し、ユニークな視座から日本美術史を照射した。

▶A5判・402頁／定価3,990円 ISBN4-7842-0572-1

## 百人一首万華鏡

白幡洋三郎編

和歌・文芸の領域はもちろん、日本人の生活全般にわたって深い関わりをもつ百人一首を、歌の解釈はもとより、歴史、選び方、カルタ、翻訳など、さまざまな角度から紹介し、その文明的広がりをさぐる。それぞれのテーマにそった版本、各種カルタ、翻訳本など収録。国際日本文化研究センターでの共同研究の成果。

▶B5判・178頁／定価2,520円 ISBN4-7842-1223-X

## 源氏物語 遊興の世界

逸翁美術館・池田文庫編

2012年9月15日～12月2日逸翁美術館で開催された同名展、同日程で池田文庫で開催された「宝塚歌劇の源氏物語」展での展示図録。描かれた『源氏物語』を中心に、雅やかな世界を現代に蘇らせる。特に物語に描かれた「奏楽」「舞楽」「暮」など「遊興」に注目し、屏風や画帖などに鮮やかに再現された「遊興」の世界をたどる。

▶A4判・98頁／定価1,050円 ISBN978-4-7842-1655-0

## 『狭衣物語』享受史論究

川崎佐知子著

『源氏物語』に並称された平安朝後期物語の傑作『狭衣物語』の受容の様相を文献学的見地から徹底的に分析検証し、連歌師紹巴が天正18年に著した『狭衣下紐』を享受史の中核に位置づけた。(財)陽明文庫所蔵『狭衣下紐』2種ほか未紹介資料5種を全文完全翻刻掲載。

▶A5判・640頁／定価12,600円 ISBN978-4-7842-1486-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。